「こうあるべき」ほぐしシート

**今のあなたはどう？「定期相談は〇〇」の強さチェック！　※１**

**まさしくその通りだ→◎　　まあそう思う→○　　そこまでは思わない→△**

STEP1

①定期相談では、子供から悩みや本音はききたいと思う。

②定期相談では、子供の口から話されることに価値があると思う。

③定期相談では子供の悩みや問題の兆候を把握し、対応するべきだ。

④定期相談ではしたいことが、いくつもある。

**（悩みの把握に問題の未然防止に…等）**

⑤定期相談は、児童生徒を理解するための時間である。

**※１①～⑤は教師が持ちやすい定期相談についての捉え（R6教育相談部調査より）**

STEP2

**①～⑤を子供の側からも見てみると、教師の思いとズレがあるかもしれない**

①「本音を言いたくない」というのも子供のホンネ。

②言葉にならない気持ちもある。

③「先生に話して解決してもらおう」と思う子供は少数。※２

④子供は「自分の話したいことを先生が聞いてくれる時間」と思っている。※３

⑤定期相談前になると緊張は増大。普段通りの姿ではないかもしれない。※4

**※２、※３、※４　R7教育相談部調査より**

STEP3

**◎について思いを柔らかくする「一言おまじない」を考えてみよう（例を参考に）。**

強すぎないかな…？教師の思い

一言おまじない（例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **①　定期相談では、子供から悩みや本音をききたい** | **けれど** | **（例）話すかどうかは子供の自由。言わない自由も尊重しよう。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **②　定期相談では、子供の口から話されることに価値を感じる**  **けれど** |  | **（例）非言語のコミュニケーションも大事。言葉以外の情報も大切に受け止めよう。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **③　定期相談では、子供の悩みや問題の兆候を把握し、対応するべきだ** | **けれど** | **（例）一緒に悩むという支援もある。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **④　定期相談で、したいことがいくつもある** | **けれど** | **（例）この時間は子供の時間。教師のしたいことなら呼び出し相談・チャンス相談もある。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **⑤　定期相談は、児童生徒を理解するための時間だ** | **けれど** | **（例）定期相談で見せる姿はある一面。緊張感や、話しづらさもある。いろいろな機会で理解を深めよう。** |